

## 台湾静宜大学と函館市民との学術交流

日程：2024 6/12-14

交流活動の内容：未来大学と静宜大学で教育や研究の交流（発表会）

先方の要望：函館市民と一緒にワークショップをしたい

\* 台湾の大学は、グローバル化を推進し、積極的に海外との交流に務める

### 6/13 1日だけの市民共創ワークショップを開催することにした。

テーマ：函館ハンティング「人は旅により日常から離れ、未知の人・文化・環境と出会い、自分を発見する。両国の参加者が一緒に鑑賞や街歩きをし、気づきや感動を表現することで、参加者それぞれが自分自身、街や文化を再発見することができる。」

参加者：台湾静宜大学 20 名、市内大学生 12 名、

市民参加者：市立博物館 7,8 名、ボランティア 10 名、未来大教員

午前：市立博物館、学芸員の皆さんがスマホの翻訳アプリを使って館内説明

午後：函館市内 3 大学、埼玉のものづくり大学と台湾の学生が混成チームを作り街歩きをし、気づいたことを、Instagram のムービー（ストーリーズ）で表現した。

(感想) グローバルな交流は、異質な価値観に出会うことになり、自分や自分の社会を省みるきっかけにもなる。交流で生まれる気づきや人の繋がりは、きっと街を元気にしてくれる。これも共創。

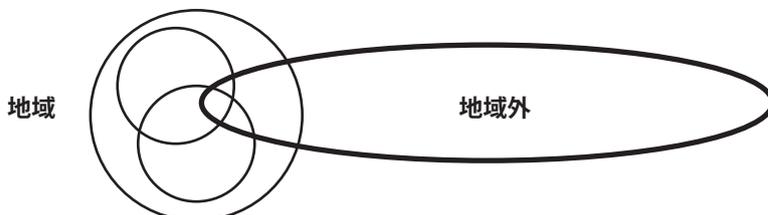


[学生の感想の一部]

台湾) このイベントを通じて、文化交流の重要性を改めて認識しました。同時に、函館と台中を比較することで、**自分の故郷について新たな視点を得ることができました**。今後もこのような機会を増やし、異なる都市や文化を探求し、自分の視野を広げていきたいと思います。

台湾) お互いに言語が通じないからこそ、**分かれようとする努力したり共通の話題で交流を深めたりといった姿勢が大事なんだ**なと思いました。

日本) 今回思い切って参加してみようかと決めて参加してみて、楽しかったと率直に感じました。日本人は宗教に関して無頓着。



### 共創

多様性を受け入れると  
面白い化学反応が起きる